

事業報告書

事業名 第一回・青梅サマーフェスティバル

写真



1 実施団体

青梅サマーフェスティバル実行委員会

2 担当課

市民活動推進課、社会教育課

3 実施時期

開催日:2017年8月27日(日)

事後ミーティング:2017年8月29日(火)

4 参加者

- ・一般市民
- ・出演者:emanation Dance Studio、青梅市立第一小学校ピアジェ学級、青梅市立吹上中学校吹奏楽部、樹キッズダンスチーム、和太鼓灯音(ビート)、青梅フラダンス連盟、青梅市立第三小学校金管バンド、NFPファミリーダンス、青梅太鼓、セントラルフィットネスクラブ西東京/青梅むすめ、鼓夢OME、アンサンブル花音、青梅総合高校 Grow up!!、青梅総合高校農林太鼓
- ・模擬店:あゆみの家(やきとり)、がま口屋(がま口)、印度亭(カレー)、青少年新町地区委員有志(かき氷)、明光義塾(ヨーヨーなど)、美登里屋(タイ飯)、トンキチ(ライスメンチ)、灸堂(タイやきそば)、小山製菓(まんじゅう・だんご)、いなりや(焼うどん)

5 実施場所 青梅市総合体育館

6 事業の目的

青梅の活性化を図るため、中高生を中心とした音楽・ダンスの発表の舞台を作ること。また企画の運営も中高生が行い、それを実行委員会がサポート。音楽フェスティバルの企画運営を通じて世代を超えた交流を創出すること。

以下のコンセプトに基づき、活動します。

- (1)市民が参加できるイベントを企画、制作、運営し、地域の活性化を図る。
- (2)子どもたちが力を発揮し表出できる環境を支援する。
- (3)常に試行錯誤とチャレンジを重ね、賑わい空間を創造する。

7 役割分担

・団体の役割

企画運営、当日運営、出演団体・模擬店との調整、広報活動、警備、ポスター・チラシ作り

・担当課の役割

当日運営、広報活動、出演団体との調整

8 事業の効果（どのような地域課題が解決できたか）

・小・中・高校生を中心としたダンスや音楽の発表の場を創ることができた。

・イベントの企画運営に中高生に参加してもらった。

→市民会館閉鎖などによる市内での発表機会の減少の中、新たな発表の舞台・機会を提供。

→親子で来場いただき、夏の思い出になるイベント。

→子どもたちが力を発揮する機会。世代間の交流

9 目標達成

事業の目標：音楽フェスティバルの企画運営を通じて、地域の活性化、中高生の活躍の場、世代間の交流などを創出する。

目標の達成具合：第一回目の開催ということで、今後続けていく上での基本的なベース作りが達成されたと考えます。

10 事業の実施内容

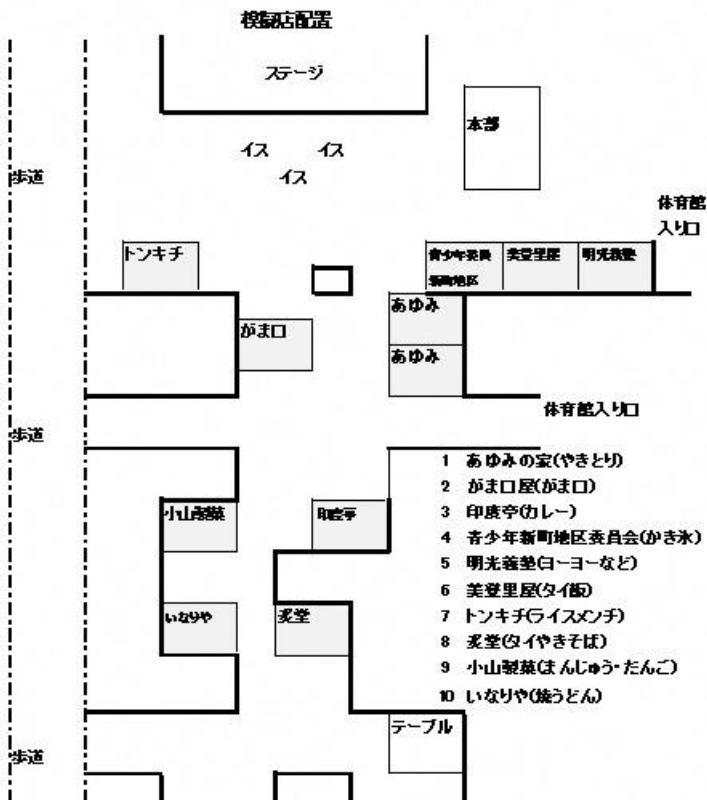
・青梅市総合体育館にて

第一スポーツホール・・・小中学生音楽、ダンス、太鼓

体育館外広場・・・演奏、ダンス、模擬店

第1回(2017.8.27) 青梅サマーフェスティバル 出演団体タイムスケジュール

| 時間 | トラックステージ | 体育館内ステージ |
|-------|-------------------------|-----------------|
| 9:50 | 開会式 | |
| 10:00 | emanation Dance Studio | 青梅市立第一小学校ピアジェ学級 |
| 10:30 | | 青梅市立吹上中学校吹奏楽部 |
| 11:00 | 樹キッズダンスチーム | 和太鼓 灯音(ピート) |
| 11:15 | 青梅フラダンス連盟 | |
| 11:30 | | 青梅市立第三小学校金管バンド |
| 12:00 | NFPファミリーダンス | 青梅太鼓 |
| 12:30 | セントラルフィットネスクラブ西東京/青梅むすめ | 鼓夢OME |
| 13:00 | アンサンブル花音 | 青梅総合高校Grow up! |
| 13:30 | | 青梅総合高校農林太鼓 |



11 実施団体と担当課の事業評価

4 はい 3 どちらかといえば「はい」 2 どちらかといえば「いいえ」 1 いいえ

| 調査項目 | 団体 | 担当課 |
|-------------------------------|----|-----|
| (1)事前の話合いを十分に行い、役割分担は明確になっていた | 3 | 3 |
| (2)事業に最もふさわしい協働形態が選択された | 3 | 3 |
| (3)協働の役割分担は適切だった | 3 | 3 |
| (4)協働相手は適切だった | 4 | 3 |
| (5)対等な立場での協力関係を築けた | 4 | 4 |
| (6)協働相手の自主性・自立性は尊重された | 3 | 4 |
| (7)事業実施は円滑になされた | 4 | 4 |
| (8)設定した目標が達成された | 4 | 4 |
| (9)協働で行うことにより効果がある事業だった | 4 | 4 |
| (10)今後の課題と改善策をお互いに話し合った | 3 | 3 |

12 まとめ（今後の課題や改善点など）

- ・スポーツ推進課とも協働の担当課にする。
- ・来年の開催にあたり、日程をどうするか。
- ・来年の開催にあたり、予算をどうするか。
- ・出演団体との交渉を早めに行う。
- ・中高生の実行委員の活性化
- ・フェスティバルのさらなる充実・拡充にむけて協力団体を増やす。

13 その他